



報道関係者各位

## エコマーク認定商品の CO<sub>2</sub> 削減効果 の推計結果について

(公財)日本環境協会 エコマーク事務局 (住所:東京都中央区、理事長:森嶋 昭夫)は、12月9日付でエコマーク認定商品の CO<sub>2</sub> 削減効果の推計結果を公表しましたので、お知らせします。

### 【推計結果の概要】

2014年の1年間に市場に投入されたエコマーク認定商品の、それらのライフサイクルにおける CO<sub>2</sub> 削減効果を推計したところ、合計約 101 万 tCO<sub>2</sub> にのぼることがわかりました。その内訳は、再生材の利用など原材料の変更によるものが約 23 万 tCO<sub>2</sub>、原材料の低減によるものが約 0.2 万 tCO<sub>2</sub>、使用電力量の削減等によるものが約 78 万 tCO<sub>2</sub> となっています。101 万 tCO<sub>2</sub> は、約 44 万人分の家庭からの CO<sub>2</sub> 排出量(1年間分)に相当します。

さらに原材料の変更において、リサイクルされなければ廃棄されていたはずの前製品の廃棄回避効果として、約 14 万 tCO<sub>2</sub> が見込まれます。

なお、推計にあたっては、LCA の専門家から成る第三者委員会を設置して算定方法やベースライン(比較対象)の設定、使用する原単位等の考え方について助言をいただきました。

(※本推計は、2015年1月から12月に株式会社三菱総合研究所に委託して実施しました。)

推計結果の概要はエコマーク事務局ホームページ(<http://www.ecomark.jp/info/release/20151209.html>)で公開しています。また、推計方法等の解説書を近日中に公開する予定です。

以上

### <本件に関するお問い合わせ>

公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局 基準・認証課

Tel: 03-5643-6253 E-mail: [info@ecomark.jp](mailto:info@ecomark.jp)

〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町 1-4-16 馬喰町第一ビル 9F

### <エコマークについて>

国際標準化機構の規格 ISO14024「タイプ I 環境ラベル制度」に基づく認定制度で、1989年に創設され(公財)日本環境協会が運営しています。環境への負荷が少ないなど、環境保全に役立つと認められる商品やサービスにつけられ、消費者が暮らしと環境の関係を考え、環境保全の面でより良い商品を選びやすくすることを目的としています。

エコマーク事務局ウェブサイトでは、最新情報を随時アップしています。URL: <http://www.ecomark.jp/>